

東京キリストの教会 QT シリーズ エフェソシリーズ

第6週 2021年3月22日～3月28日

<3月22日(月) エフェソ 6:1-3 (新共同訳) >

1 子供たち、主に結ばれている者として両親に従いなさい。それは正しいことです。2 「父と母を敬いなさい。」これは約束を伴う最初の掟です。3 「そうすれば、あなたは幸福になり、地上で長く生きることができる」という約束です。

解説

聖書の中で、直接的に子供の扱いについて触れている箇所が少ないのは興味深いことです。子供たちにまず求められているのは、従順です。親は神様から権威をいただいたので、子供たちは親に従順に従う必要があります。それはつまり、子供たちだけではなく、まず親がキリストの権威の下に従い生きることが必要となります。その従順の先には、神様の祝福の約束が必ず伴います。

質問・実践

①自分の両親に従っていますか。権威に歪んだ見方があれば、それは必ず父である神様との関係にも影響します。弟子ではない両親だとしても、主に結ばれている者として、感謝と尊敬を持って接しましょう。

②保護者の方へ

あなたのお子さまは、あなたがキリストの権威に従う姿を見て、神様を恐れ従っていますか。あなたは、キリストの弟子としての模範になっていますか。親に従えない子供は、霊的な価値観から遠ざかり、最終的に神様に従うことができなくなります。兄弟姉妹にお子さまを客観的に見てもらう機会を作るか、または子供のクラスの先生、ワーカーからフィードバックをもらってください。

<3月23日(火) エフェソ 6:4 (新共同訳) >

4 父親たち、子供を怒らせてはなりません。主がしつけ諭されるように、育てなさい。

解説

すべての義務は一方的ではなく、神様は親にも子供に対しても義務を与えています。4節では「父親たち」と呼びかけていますが、両親に対しての警告と言えます。

親が子供に聖書的な従順を教えることは必要ですが、「権威の乱用」があってはなりません。しつけは欠くことができないものですが、コロサイ 3:21 にもあるように、「子供をいじけさせる」不要な規則や規定、罰を与えること、細々と注意するようなことは、すべきではありません。

親たちは、子供を神様の権威の元預かっていることを忘れ、「自分は誰よりも我が子を愛している」という強い思いが出てきます。それにより健全な域を超え、「権威の乱用」を起こしてしまいます。

子供にとって神様のイメージは、自分の親に影響されます。もし親が厳しい親であれば、厳しく裁く神様のイメージになってしまいます。多くの子供にとって、親の性格や罪などが障害となり、聖書通りの正しい神様を捉えることができません。

質問・実践

①神様とあなたの両親の違い、また似た点はなんでしょう。

②保護者の方へ

あなたの関わりで、苛立たせていること、怒らせていること、いじけさせていることがないか子供に聞いてみましょう。

<3月24日(水) エフェソ 6:5-9 (新共同訳)>

5 奴隷たち、キリストに従うように、恐れおののき、真心を込めて、肉による主人に従いなさい。6 人にへつらおうとして、うわべだけで仕えるのではなく、キリストの奴隷として、心から神の御心を行い、7 人ではなく主に仕えるように、喜んで仕えなさい。8 あなたがたも知っているとおりに、奴隷であっても自由な身分の者であっても、善いことを行えば、だれでも主から報いを受けるのです。9 主人たち、同じように奴隷を扱いなさい。彼らを脅すのはやめなさい。あなたがたも知っているとおりに、彼らにもあなたがたにも同じ主人が天におられ、人を分け隔てなさらないのです。

解説

この手紙が書かれた時代はローマ帝国全体の約 20%、またローマ市民の 30%以上が奴隷であったといわれています。奴隷は権利が無く、主人の財産とみなされてきました。パウロは、キリストを主として生きる奴隷たちに対して、仕方なくうわべだけで仕えるのではなく、キ

リストに対する畏怖の念と真心を持って、キリストに仕えるよう主人にも仕えることを命令しています。また主人たちに対しては、奴隷たちを兄弟姉妹として扱うように教えています。このようにパウロが言えるのは、全ての者が分け隔てなく「罪の奴隷」から解放され、キリストに従うことによって真の自由を与えられた「キリストの奴隷」となったからです。

質問・実践

①職場で自分の努力や働きが正当に評価されない、近所の関係や友人関係、家族との関係で不当に扱われていると感じることがありますか。それに対して神様はあなたの努力や働きをどのように見てくださっているのでしょうか。

②自分の部下や従業員、同僚、同級生や後輩に対して、不平不満、憤り、軽視はありますか。彼ら(彼女たち)がイエスであれば、あなたはどのように接するのでしょうか。それを具体的に実践してみましょう。

<3月25日(木) エフェソ 6:10-13 (新共同訳) >

10最後に言う。主に依り頼み、その偉大な力によって強くなりなさい。11悪魔の策略に対抗して立つことができるように、神の武具を身に着けなさい。12わたしたちの戦いは、血肉を相手にするものではなく、支配と権威、暗闇の世界の支配者、天にいる悪の諸霊を相手にするものなのです。13だから、邪悪な日によく抵抗し、すべてを成し遂げて、しっかりと立つことができるように、神の武具を身に着けなさい。

解説

使徒パウロは、ローマ軍を連想しながら武具の話をしています。決してやってはいけないことは、敵の力を甘く見ることです。だからこそパウロは、まず私たちの敵である悪魔の性質を理解するように言っています。そして戦いに勝利するために、神の武具を身に着け、しっかり立つように励ましています。この「立つ」とは、軍事的には正しい立ち位置に留まるという意味です。私たちが悪魔と戦うためには、まず正しい立ち位置、つまり神様という土台の上にしっかり「立つ」必要があります。弟子たちにとっての土台は、10節で言われている神様の力に頼ることです。キリストの力こそ勝利するための全ての源だからです。

質問・実践

①生活の中で甘く見てしまいがちな悪魔からの誘惑や戦いはありますか。

②霊的に戦う時、感情や状況や関係ではなく、御言葉の上をしっかり堅く立ちましょう。

<3月26日(金) エフェソ 6:14-17 (新共同訳) >

14 立って、真理を帯として腰に締め、正義を胸当てとして着け、15 平和の福音を告げる準備を履物としなさい。16 なおその上に、信仰を盾として取りなさい。それによって、悪い者の放つ火の矢をことごとく消すことができます。17 また、救いを兜としてかぶり、霊の剣、すなわち神の言葉を取りなさい。

解説

ここでは「神の武具」について教えています。武具を身につけるときは「戦の時」です。私たちはクリスチャンとして、毎日霊的な戦いをしているので、武具をしっかり身につけて生活する必要性を教えられています。

質問・実践

①悪魔はクリスチャンを焼き滅ぼそうと策略しています。信仰の盾こそが、悪魔の放つ火の矢をことごとく消すことができます。今、あなたは悪魔の放つ、どのような火の矢に襲われていますか。信仰の盾と霊の剣をとって戦ってください。

<3月27日(土) エフェソ 6:18-20 (新共同訳) >

18 どのような時にも、“霊”に助けられて祈り、願い求め、すべての聖なる者たちのために、絶えず目を覚まして根気よく祈り続けなさい。19 また、わたしが適切な言葉を用いて話し、福音の神秘を大胆に示すことができるように、わたしのためにも祈ってください。20 わたしはこの福音の使者として鎖につながれていますが、それでも、語るべきことは大胆に話せるように、祈ってください

解説

私たちは常に悪魔との霊的な戦いの中にあることを、パウロは思い起こさせています。「祈り」も武具の一つです。祈らずに1日を過ごすことは、ウイルス対策ソフトが入っていないパソコンを使っているように、外敵の攻撃に対して無防備になっている状態です。パウロは福音の使者として、日々悪魔からの攻撃を受けていると感じていました。だから「どのような時にも、“霊”に助けられて祈る」こと、「絶えず目を覚まして根気よく祈り続ける」ことの大切さを教えています。また自分自身が福音の使者として適切な言葉を用いて大胆に語れ

るよう祈ってもらう必要性を感じていました。

質問・実践

- ①日本と世界で聖なる者とされている兄弟姉妹たちが、悪魔の攻撃から守られ、霊の戦いに勝利するよう、特別なお祈りの時間を持ちましょう。
- ②20節にある「福音の使者」は、新改訳では「福音の大使（福音を伝えるために公式に派遣された使者）」とあります。あなたも「日本の福音大使」として、大胆に話せるように祈り、実践してください。

<3月28日(日) エフェソ 6:21-22 (新共同訳) >

21 わたしがどういう様子でいるか、また、何をしているか、あなたがたにも知ってもらうために、ティキコがすべて話すことでしょう。彼は主に結ばれた、愛する兄弟であり、忠実に仕える者です。22 彼をそちらに送るのは、あなたがたがわたしたちの様子を知り、彼から心に励ましを得るためなのです。

解説

パウロは最後に自分の様子を伝え、励ましを与えるためにティキコを送り出しました。ティキコはアジア州の代表者でした（使徒 20:4）。コロサイ、2 テモテ、テトスの手紙にも名前が出てきており、パウロの働きを支える重要人物の一人でした。彼は「主に結ばれた、愛する兄弟であり、忠実に仕える者」でした。実際に彼についての詳細の記述はありませんが、パウロの働きをこのような忠実な兄弟が支え、彼はパウロの代わりに教会へ行って励まし、問題を解決し、教会を強めました。

質問・実践

- ①パウロの働きをティキコが支えたように、あなたの働きを支えてくれるティキコのような存在はいますか。
- ②あなたは誰にとってのティキコのような存在になりたいですか。